

地域の魅力を高める歴史的資産の使い方を創造する

31 歴史的町並み構成要素を調べる

前項で概要を示した通り、栃木市嘉右衛門町地区・栃木町地区、桜川市真壁地区で実施した魅力発掘調査の調査項目と評価基準を表1～4に示す。これらの表に示す項目を現地で確認し、その結果を地図上にプロットすることにより、個々の要因の現況分布を作成した。その後、現況分布を基に「景観構成要素」および「景観阻害要素」を抽出した。「景観構成要素」では、樹木・植栽等の自然的要素、人口・交通・建造物や工作物等の社会的環境要素、石碑・鳥居・ベンチ・モニュメント等のその他、の3つの要素に分類した。「景観阻害要素」では、景観を阻むような、周りと調和しない看板や建造物の連続性を断つ空き家・空き地等を分析した。

表1 調査項目 I (歴史的町並み構成要素)

	分類	内訳					備考	参考
		広葉樹		針葉樹		保存樹木		
歴史的町並み構成要因	樹木	中	高	中	高			樹木の高さは樹木周辺物で判断。5m以上(建物2階相当以上)の高さを高木、それ以外を中木とする。
		鉢植え	植栽					
	石碑	石質サイン	記念碑	道祖神			石質サインは「伝統的建造物」「〇〇寺」のような特定を示す石碑。	記念碑は説明書きや石絵なども含む 
					鳥居	祠		
	その他	サイン	ベンチ	モニュメント	行事物	その他	・その他に関しては写真を撮り、メモを記入する。	サイン例 
歴史的町並み構成要因	サイン	上り旗	袖・置看板	駐車場看板	政党ポスター	不調和	・不調和に関しては写真を撮り、メモを記入する。	不調和例(蛍光色・大型) 
※建造物、看板建築、街灯、街路、屋根伏せ、空き地、駐車場は本調査項目に含まず								
備考欄								
栃木市: 市の木(トチノキ:トチノキ科トチノキ属落葉広葉樹) 市の花(サツキ:ツツジ科ツツジ属)								
								

表2 調査項目Ⅱ(塀の状況)

<p>①</p>	<p>ブロック塀 構成 (◎) 塗 (又) レンガ (レ)</p>	
<p>②</p>	<p>フェンス</p>	
<p>③</p>	<p>瓦のせ塀</p>	
<p>④</p>	<p>板塀</p>	
<p>⑤</p>	<p>石積み 石張り塀</p>	
<p>⑥</p>	<p>生垣塀</p>	
<p>⑦</p>	<p>竹垣塀</p>	
<p>⑧</p>	<p>柵</p>	

表3 調査項目Ⅲ(建物の老朽度判定)

老朽度	説明	備考		
高	野地板等の構造部材に破損が見られるもの、建物(柱)が傾いているもの	全体(柱)	崩壊 傾き	
		屋根	波打ち	
			崩壊	
		外壁	崩壊	
中	屋根葺き材が剥落しているもの、外壁においてひび割れや仕上げ材が剥落しているもの	屋根(葺き材)	剥落	
		外壁(仕上げ材)	ひび割れ	
			剥落	
低	老朽度高、老朽度中以外のもの			

表4 調査項目Ⅳ(空き地の状況)

用途	説明		備考	
駐車場	駐車場としての整備がされているもの	看板		
		車庫		
		車止め		
		白線・トラロープ	 	
ポケットパーク	広場、またはベンチ等の設置されたもの	広場		
		ベンチ等のある敷地		
その他	畑、資材置き場として利用されているもの	農耕地として利用されている敷地		
		木材等の資材が置かれている敷地		
空き地	その他、用途の無いもの	売り地・放置	 	
		車がとめてあるが整備されていないもの		

以下には、一例として栃木市嘉右衛門町地区の知見を示す。

○景観構成要素(現況分布を図1に示す)

【自然的要素】

- ・ 当該地区の地形及び河川・水系は、市域の大部分が関東平野の一部を成す平坦地で、北西部のみ足尾山地に続く丘陵地を形成しており、それに伴い巴波川を含めた幾本かの河川が足尾山地東麓より南流し、市南端部の渡良瀬遊水地において渡良瀬川へと合流する。
- ・ 樹木や植栽等の緑の現況分布は、翁島、岡田記念館庭、及び調査地区北部分岐点付近に緑が多く見られるが、調査地区中央部例幣使街道沿いには、あまり見られない。
- ・ 生物は、巴波川に鯉、鴨等の生物が多く見られる。

【社会的環境要素】

- ・ 当該地区の人口分布特性は、地区北側に比べ人口が多く、また、地区東側に比べ人口が少ない。
- ・ 市街地の変遷は、重伝建地区内は昭和 35 年から、調査範囲は昭和 60 年から人口集中地区となった。
- ・ 幅員別道路網現況(暗渠・舗装部分を含む)から、調査地区及び重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区)北部境界線沿いに、幅員の特に大きな道路が見られ、調査地区内の道路幅員は概ね4~9m である。
- ・ 交通は、重伝建地区内の例幣使街道は定期的にボンネットタイプの市内循環バスが運行している。
- ・ 道路・橋特性から、地区西部に古くからの道が多く残り、重伝建地区内例幣使街道のみ道路全面に石張り舗装がされている。
- ・ 建造物は、石蔵、土蔵、及び木造等様々な様相の歴史的建造物がある他、洋風の外観とするものもあり、変化のある町並みを形成する。
- ・ 屋根伏せは、店舗部と住居部から構成された主屋が通りに面し、その背後に蔵等の附属屋を並べるものが多い。平屋建て又は2階建ての切妻、瓦葺のものが多く、正面に下屋を張り出す。住居部は、店舗部の背面に接続し、敷地の長手方向に沿って棟を置き、切妻、瓦葺を基本とする。
- ・ 法的規制は、地区内のほとんどが、第一種住居地域(60/200)であるが、北部の一部に準工業地域(60/200)が含まれている。
- ・ 歴史的建造物(建築)は、地区南部旧日光例幣使街道沿いに多くの歴史的建造物が分布しており、中でも木造店舗がカーブ沿いに多く見られる。老朽度調査では大きな破損が見られる建造物が少なく、ほとんどが良好な状態を保っている。
- ・ 歴史的建造物(工作物)については、重伝建地区東部境界沿い、及び翁島周辺に生垣が多い。また、旧日光例幣使街道沿いにはほとんど塀が見られない。老朽度調査では重伝建地区東部境界沿いに破損している塀が見られるが、ほとんどの工作物は老朽度が低く、良く整備されていると言える。
- ・ 行事(お祭り等)の開催場所・山車保管場所については、地区内に山車保管場所が一つあるが、ほとんどが栃木町付近にあり、また、地区内を山車が通ることはない。

【その他】

- ・ その他魅力空間資源の分布から、その他魅力空間資源は重伝建地区内の特に南部に多く分布しており、調査範囲北部旧日光例幣使街道沿いには、殆ど見られない。また、岡田記念館、巴波川沿いに多い。

○景観阻害要素(現況分布を図2に示す)

- ・ 空き家・空き地現況分布は、重伝建地区東部境界沿いに、空き地が広く分布している。また、重伝建地区以外の調査範囲北部には空き家、空き地の両方が多く見られる。
- ・ 景観阻害要素は、重伝建地区東側境界沿いには歴史的建造物が少なく、空き地が広く分布している。景観を阻害する塀は地区西側に多く、その他景観阻害要素は地区北・東側に多い。

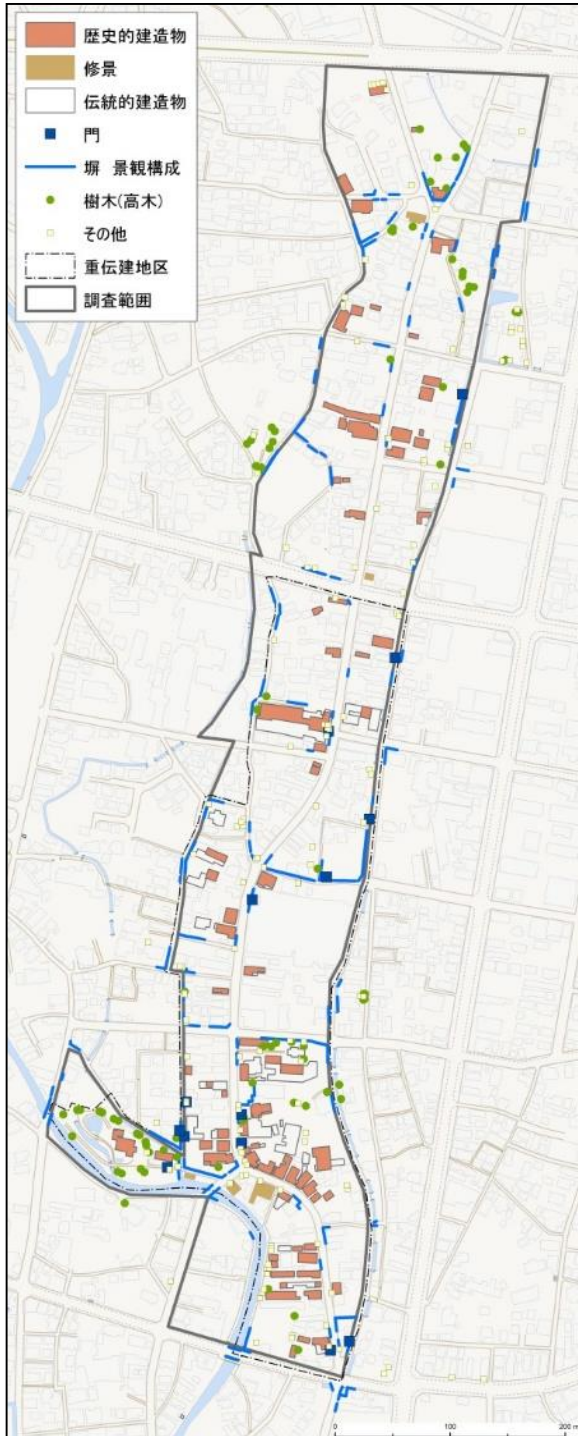


図1 景観構成要素の現況分布

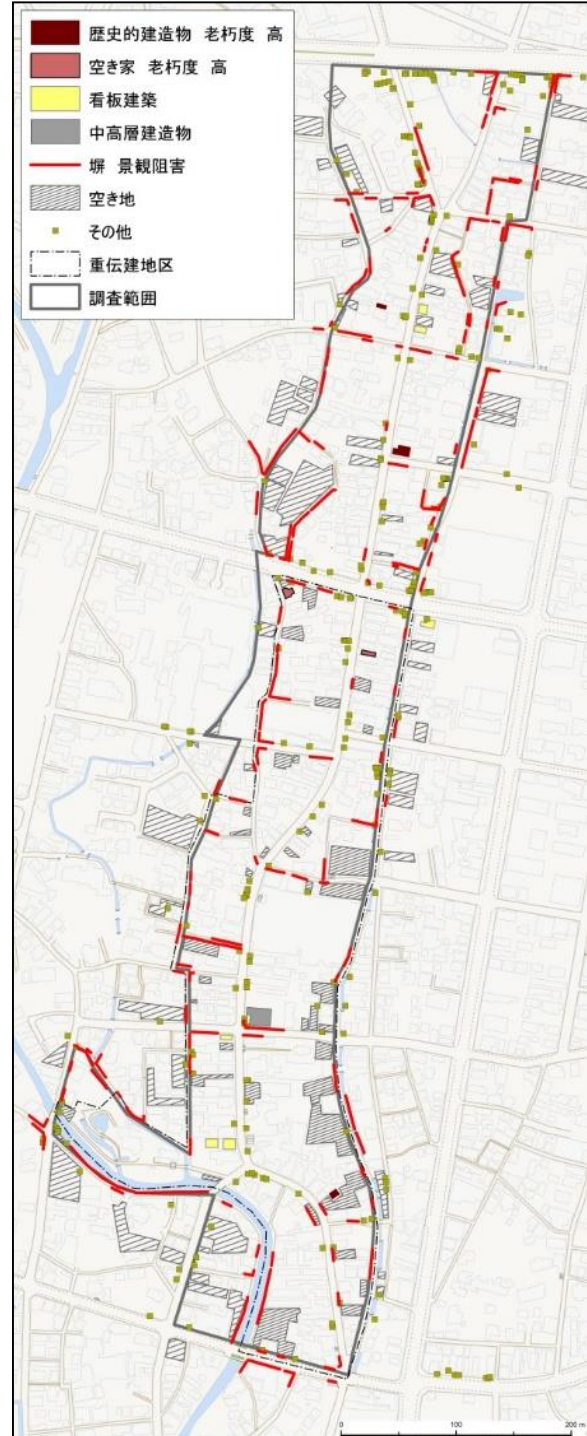


図2 景観阻害要素の現況分布

参考文献 (下線の文献は本項に関する発表論文等を示す)

- 1) 天野正昭,天野克也,大橋好光,横内基,大島隆一:重要伝統的建造物群保存地区における空き家・空き地の実態に関する研究 茨城県桜川市真壁地区を対象として、日本建築学会大会学術講演梗概集、都市計画、pp.1099-1100、2014年9月